

ZEPHYROS

ゼフュロス No.68

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2016年8月20日発行

ISSN1342-8071



特集1 クラーナハ展 — 500年後の誘惑

特集2 世界文化遺産の登録決定について

企画展「クラナハ展—500年後の誘惑」



《正義の寓意》
1537年 油彩／板 個人蔵

華奢な曲線を描く身体、陶器のように艶めいた肌、そして、どこまでも醒めた眼差し……。ルカス・クラナハ（父）の絵画が放つ、その冷たい「誘惑」に惹かれてきた者は、数知れません。美術コレクターや美術史家はもちろんのこと、たとえば、20世紀の小説家、アーティスト、思想家たちもが、その絵画に魅せられてきました。およそ500年前にクラナハが描いたイメージは、時空を超えて見る者を誘い、また惑わせるのです。

1472年にドイツのクローナハに生まれた

クラナハは、1505年にザクセン選帝侯フリードリヒ賢明公によって腕を見込まれ、ヴィッテンベルクの宮廷に招かれました。以後、およそ半世紀にわたってその都市に暮らしたクラナハは、宮廷画家として選帝侯に仕えるとともに、いわば自立的な事業家としても成功を収めました。大型の工房を自主運営した彼は、多数の弟子たち、息子のハンス・クラナハおよびルカス・クラナハ（子）らとの集団制作をつうじて絵画の大量生産をおこない、新たな美術マーケットを切り拓いてみせたのです。蛇をかたどった紋章を「商標」とし、みずからの芸術をブランド化したクラナハは、まるで現代の文化やアートの実験をなすかのような活動を展開したともいえるかもしれません。

また、この画家が生きた時代のドイツは、たいへんな激動期にありました。クラナハが暮らしたヴィッテンベルクは、1517年にマルティン・ルターによって開始された本格的な宗教改革の震源地となった場所です。ルターときわめて親しい友人だったクラナハは、自身の絵画や版画をつうじて、宗教改革に貢献したのです。

とはいえ、そんなクラナハの名を、後世のわたしたちに何よりも忘れがたいものになっているのは、彼がくりかえし描いた蠱惑的な女性像の数々——ユディト、サロメ、ルクレティア、ヴィーナス……——でしょう。クラナハは、出典の異なるさまざまな物語のなかから「女



《マルティン・ルターの肖像》
1525年 油彩／板
ブリストル市立美術館
©Bristol Museums, Galleries & Archives



《不釣り合いなカップル》
1530-1540年頃 油彩／板（ブナ）
ウィーン美術史美術館
©KHM-Museumsverband.

のちから」と呼ばれるテーマ系を抽出し、それらを前例なき「誘惑」の絵画へと仕立て上げたのです。この画家の絵が、パブロ・ピカソから森村泰昌までの近現代のアーティストに無視しえない影響をおよぼしてきたのも決して偶然ではないでしょう。クラーナハは、未来の人々までもを誘惑する「イメージのちから」を知っていたのです。

宗教改革からちょうど500年を数える2016/17年に開催される本展は、日本初のクラーナハ展となります。クラーナハの全貌に迫ると同時に、その芸術を当時の社会状況などと併せて読み解き、さらには彼の死後の影響にも迫ります。絵画の「誘惑」を体感するまた

とないこの機会を、どうかご期待ください。

（国立西洋美術館研究員 新藤 淳）

表紙
ルカス・クラーナハ（父）
《ホロフェルネスの首を持つユディット》
1530年頃、油彩／板（菩提樹）
ウィーン美術史美術館
©KHM-Museumsverband.

クラーナハ展—500年後の誘惑

- 一般 1,600円（1,400円）
- 大学生 1,200円（1,000円）
- 高校生 800円（600円）
- *中学生以下、心身に障害のある方および付添者1名は無料（入館の際に学生証・障害者手帳をご提示ください。）
- *（ ）内は20名以上の団体料金
- *本展の観覧券で常設展も併せてご覧いただけます。

掲載作品はすべてルカス・クラーナハ（父）

「世界文化遺産の登録決定について」



1959年に建てられた国立西洋美術館の本館は、フランスの建築家・ル・コルビュジェの設計になるものですが、フランスからの申請として、「ル・コルビュジェの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」という枠組みで世界7カ国17資産をまとめてユネスコに申請したなかに、含まれています。この申請は今回で3度目ですが、去る5月に調査機関であるイコモスからようやく合格点といえる「登録が妥当という勧告」をもらいました。その後7月のユネスコ世界遺産委員会に向けてさまざまな取り組みを行ってきましたが、ようやく7月17日に登録が決定いたしました。

ご存じのとおり、7月15日に会議の行われていたトルコのイスタンブールでクーデター未遂事件が起き予定していた審議が延期されてしまったのです。7月15日には、台東区役

所でパブリック・ビューイングが行われ、その瞬間を関係者や区民で祝おうと深夜に集まったのですが、ひとつ前のアメリカ提案の審査途中で時間切れとなり、翌日に審議となった当館の案件は、クーデター勃発のため、延期となってしまいました。翌日思いがけず状況は早い段階で安定し、17日午前中には世界遺産委員会が再開されて、審議に入っすぐに「登録」の決定が下されました。

5月から約2ヵ月間、マスコミなどにおいて、世界遺産関連のニュースが大きく報道され、当館が紹介される機会が増えました。まず、ル・コルビュジェの建築とはどういう特徴をもつものか、それはなぜ価値があるのか、どういった歴史的経緯でこれが建てられたのか、日本への影響はどんなものがあるのか、保存上の問題とは何か、などの視点から報道がさ

開館当時の外観、19世紀ホール
撮影：東京フォトアート



れたことは、当館を知ってもらおう上で大変良いことだと思いました。プレス・リリースを出したり、質問に答えたりする私たちの側も、より精緻にこの問題について考え知る機会となったと言えます。

当館としては今後、保存への取り組みやル・コルビュジエの建築の特徴を適切に広報していきたいと考えます。また、歴史的経緯として松方コレクションの存在は重要です。コレクションが返還されることがなければ、この建物もなかったわけですから、57年前の美術館創設当時の状況についても、一般の方々に知ってもらい、建物とともに、コレクションも鑑賞していただきたいと考えています。

(国立西洋美術館長 馬淵 明子)

このたびの世界遺産登録決定直後より大変多くのお客様にご来館いただいております。今後も多くの方々のご来館が予想されます。そのため、ご来館の皆様様の観覧環境の保全及び作品保護の観点から、当面の間、無料観覧日(第2・第4土曜日、2016年8月20日(土)、文化の日(11月3日))の常設展示室内における写真、動画等の撮影を禁止とさせていただきます。なお、その他の日におきましても同様の観点で急遽撮影が禁止となる場合もあります。また、企画展示室内については従来どおり撮影は禁止、版画素描展示室で開催中の「ル・コルビュジエと無限成長美術館—その理念を知ろう—」につきましても撮影は禁止とさせていただきます。ご理解、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

常設展無料観覧日 8月20日(土)

EVENT イベント

クラナハ展—500年後の誘惑

展覧会に関連して次のプログラムを実施いたします。ぜひご参加ください。

● 講演会

日 時：**10月15日(土) 14:00~15:30** ※同時通訳付き

ガイド・メスリング (ウィーン美術史美術館学芸員)

「旅する芸術家——クラナハとネーデルラント」

日 時：**10月29日(土) 14:00~15:30**

秋山 聰 (東京大学教授)

「クラナハVS. デューラー：ドイツにおける「芸術家」の誕生をめぐる」

日 時：**11月19日(土) 14:00~15:30**

田辺 幹之助 (東京藝術大学教授)

「クラナハと宗教改革」

日 時：**12月10日(土) 14:00~15:30**

新藤 淳 (国立西洋美術館研究員)

「誘惑は時を超えて——クラナハと〈女のちから〉」

会 場：国立西洋美術館講堂（地下2階）

定 員：各回先着 140 名（聴講無料。ただし、聴講券と本展の観覧券が必要です。）

参加方法：当日 12:00 より、館内インフォメーションにて、本展の観覧券をお持ちの方お一人につき一枚聴講券を配付します。会場へは開演の 30 分前からご入場いただけます（自由席）。

● スライド・トーク

展覧会のみどころや主な作品について、スライドを使って説明します。

日 時：**10月21日(金)、11月11日(金)、11月25日(金)、12月16日(金) 各回18:00~(約30分)**

会 場：国立西洋美術館講堂（地下2階）

解 説 者：龍 真末（東京藝術大学大学院博士後期課程）

定 員：各回先着 140 名（聴講無料。ただし、本展の観覧券が必要です。）

※直接講堂にお越しください（開場時間は各日とも開演の 30 分前）。

※講演会、スライド・トークの内容等は変更となる場合があります。

最新の情報は国立西洋美術館ホームページまたはハローダイヤル（03-5777-8600）でご確認ください。



展覧会カタログ

2016年9月19日（月・祝）まで開催の「聖なるもの、俗なるもの
メッケネムとドイツ初期銅版画」のカタログです。

2,300 円（税込み）

Museum shop

ミュージアム
ショップ

新商品

●『オリジナルトートバッグ』

1,080円(税込み)

ル・コルビュジエの設計による国立西洋美術館本館の建物と前庭の大小様々な長方形で区切られている石畳をデザインしました。

張りのあるコットン製で、展覧会カタログが2～3冊入る大きさです。



仕様：綿100%
W35cm×H37cm
マチ11cm 内ポケット付

●『ハンドタオル』 540円(税込み)

肌ざわりの良い今治産のハンドタオルに刺繍を施しました。国立西洋美術館のシルエットと、考える人の2種類あります。



仕様：綿100% W25cm×H25cm
色：白・緑（国立西洋美術館シルエット）
青・ピンク（考える人）

Café

カフェすいれん

「クラナハ展—500年後の誘惑」特別メニュー



期 間 2016年10月15日(土)～2017年1月15日(日)

●ドイツ産ソーセージ

ミュンヘナーヴァイスヴルスト

キャベツのマリネ添え

853円(税込み)

赤ワイン：ピノ・ノワール

グラス 648円(税込み) ボトル 3,240円(税込み)

ドイツ・ルネサンスを代表する芸術家クラナハにちなみ、期間限定でドイツ産ソーセージをご提供致します。華やかな香りと魅力的な味わいの赤ワインと合わせてご賞味ください。

チケット売場、館内施設（常設ミュージアムショップ、カフェすいれん）でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。（ただし、一部除外品がございます。）詳細については、当館ホームページをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示] 2016年8月～2017年1月

休館日 土日・祝日

AUG 8 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水

聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画 7月9日(土)~9月19日(月・祝) (企画展示室)

Fun with Collection 2016 ル・コルビュジエと無限成長美術館—その理念を知ろう— 7月9日(土)~9月19日(月・祝)(新館2階 版画素描展示室)

SEP 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画 7月9日(土)~9月19日(月・祝) (企画展示室)

Fun with Collection 2016 ル・コルビュジエと無限成長美術館—その理念を知ろう— 7月9日(土)~9月19日(月・祝) (新館2階 版画素描展示室)

OCT 18

1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

クラナハ展—500年後の誘惑 10月15日(土)~2017年1月15日(日) (企画展示室)

NOV 11 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水

クラナハ展—500年後の誘惑 10月15日(土)~2017年1月15日(日) (企画展示室)

DEC 12 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土

クラナハ展—500年後の誘惑 10月15日(土)~2017年1月15日(日) (企画展示室)

年末年始休館
12月28日(水)
～1月1日(日・祝)

JAN 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火

クラーナハ展—500年後の誘惑 10月15日(土)~2017年1月15日(日) (企画展示室)

●臨時開館・臨時休館・全館休館のお知らせ

- * 10月14日(金)は展覧会準備のため、全館休館します。
- * 2016年12月28日(水)～2017年 1 月 1 日(日・祝)は年末年始休館となります。
- * 2017年 1 月 2 日(月・休)は開館します。
- * 2017年 1 月30日(月)～2 月10日(金)は展示替えのため、全館休館します。

●常設展示

ロダンやブールデルの彫刻と中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。

(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

※展覧会名、会期、展示内容等は変更されることがあります。

※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
(ただし、秋の企画展閉会日以降の開館日から春の企画展開催日までの開館期間中…午前9時30分～午後5時)
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
8月の金曜日…午前9時30分～午後8時30分
*入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)
*その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日(11月3日)
- お問い合わせ…ハローダイヤル:03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフュロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色さまざまな花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第68号

編集・発行 国立西洋美術館/2016年8月20日(年4回発行)
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団
印刷 (株)アイネット